

「栃高の日」新聞 第31号

発行者：校長 大橋 芳樹 発行日：平成30年10月17日（水）

来る10月28日（日）[予備日：11月4日（日）]は「第57回栃高31km耐久レース」の日となります。昨年度のように、気温が20℃を超えることも考えられ、熱中症対策には万全を期してください。前日まで、十分な睡眠・栄養補給に努め、体調を整えておいてください。また、レース当日は各人が自分のペースを守りオーバーペースにならないようにご注意をしたり、こまめな水分・塩分補給に努めることで熱中症を予防しましょう。また、状況によっては、レースを棄権する勇気も持ちましょう。

「世界三大〇〇」シリーズ第7弾

「世界三大〇〇」シリーズ第7弾は、「世界三大がっかり」の話です。「世界三大がっかり」とは、「シンガポールのマライオン」、「ブリュッセルの小便小僧」、「コペンハーゲンの人魚姫」のことです。いずれも世界的に有名な観光名所で、旅行に行く前から期待感がいやが上にも膨らんでしまい、その期待が裏切られることが多いために、そう呼ばれるようです。

＜シンガポールのマライオン＞高さが約8mの上半身がライオン、下半身が魚の像。材質は全身コンクリート製で波をかたどった台の上に乗り、口からは水を吐いている。1972年に地元彫刻家リム・ナン・センにより制作された。一時期ポンプの故障で水が出なくなり、近くに橋が架けられ正面から見えなくなり、がっかり。



＜ブリュッセルの小便小僧＞1619年に彫刻家ジェローム・デュケノワにより制作された放尿する少年を模した像。高さは55.5cm、重量は17kg。反政府軍がしかけた爆弾の導火線に小便をかけて消し、ブリュッセルを救った少年ジュリアンにちなみ、「ジュリアン坊や」と呼ばれる。地味で存在感が薄くて、がっかり。

＜コペンハーゲンの人魚姫＞ハンズ・クリスチャン・アンテルセンの童話『人魚姫』をモチーフにしたブロンズ像。高さは1m25cm、重量は175kg。カールスバーグ醸造所の創立者の息子カール・ヤコブセンから要請され、1913年に彫刻家エドヴァルド・エリクセンにより制作された。思った以上に小さくて、がっかり。



「贈る言葉」⑦

「壁ちるだけ壁ちてごらん。次は上り坂だ」

日本を代表するバイオリニストである千住真理子の言葉です。2歳半よりバイオリンを始め、12歳でNHK交響楽団と共演しプロデビューを果たしますが、「天才少女」と呼ばれてきたことが負担となり20歳の時に一度バイオリン辞めています。自暴自棄になっていた時に、ホスピスでバイオリンのボランティア演奏をする機会があり、自分の演奏に涙し、「ありがとう」といってくれる患者の姿を見て、「絶望に陥っている時に、音楽に救われるような気持ちになることが本当にあるんだ」という天啓を得て、22歳で再びプロの道を決意したそうです。この言葉は、後になって新聞記事の中で20歳の自分に贈ったものだそうです。人生、いくらでもやり直しが利きます。大丈夫です。



「壁ちるだけ壁ちてごらん」
「壁ちるだけ壁ちてごらん」という言葉は、千住真理子さんの言葉です。千住さんは、20歳の時に一度バイオリンを辞めたことがありました。その時に「壁ちるだけ壁ちてごらん」という言葉を贈りました。千住さんは、その言葉を聞いて涙が流れて、再びバイオリンを弾き始めました。千住さんは、その言葉を聞いて涙が流れて、再びバイオリンを弾き始めました。千住さんは、その言葉を聞いて涙が流れて、再びバイオリンを弾き始めました。

「日本語って難しい!」⑦

「采配を振るう」は×、「采配を振る」が○
「采配」とは、大将が戦場で軍勢を率いる際に用いた指揮具で、「振る」ことで軍勢に指示を送っていました。そのため「采配を振る」という使い方が正解で、勢いよく振り回すことになってしまう「采配を振るう」は誤用となります。文化庁が行った平成29年度「国語に関する世論調査」においても、正しい用法の「采配を振る」を使うと回答した人の割合が32.2%だったのに対して、誤った用法の「采配を振るう」を使うと回答した人の割合が56.9%と圧倒的に多く、誤用が広く浸透している例の一つとなっています。長女に「采配」の「采」の字をとって「采夏」という名前を付けたにもかかわらず、恥ずかしながら、「采配を振るう」が正しい用法だと思っていました。



校長のはまりもの④

校長が様々なジャンルで「はまっているもの」を紹介する「校長のはまりもの」の第4弾は、『ウミウシ』です。ウミウシは、軟体動物門腹足綱の後鳃類に分類され、貝殻が縮小し、体内に埋没したり、消滅した巻貝の仲間です。体色の鮮やかさ、模様の華麗さから「海の宝石」と呼ばれています。また、見た目の印象から、「キャラメルウミウシ」、「イチゴジャムウミウシ」、「パイナップルウミウシ」、「シロボンボンウミウシ」、「シンデレラウミウシ」、「シモフリカメサンウミウシ」、「ユキヤマウミウシ」、「アカズキンリュウグウウミウシ」などと、ゆるい和名が付けられているのも大変魅力的です。ウミウシが好きすぎて奄美大島に移住してしまった海洋写真家の今本淳氏の写真集『ウミウシ 不思議な美しいもの』、『不思議ないきもの かわいいウミウシ』、『美しく不思議なウミウシ』は常に手元においてあり、疲れた時にはポーッと眺めて、海中散歩気分を楽しんでいます。



1月19日（土）の大学入試センター試験まで

合格 あと 94 日

「栃高の日」は「とことんチャレンジ」

10月の「栃高の日」は、私は
【 】
にチャレンジします!

*【 】の中に自分で選んだものを書き入れよう!

チャレンジ満足度 [5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1]

*一日を振り返って、チャレンジ満足度を5段階で自己評価しよう!

元号 「元号」特集② 元号

現在の天皇陛下の退位の日が来年の2019年4月30日と決まり、この日をもって「平成」も31年で終わることになります。そして、新元号の始まりは、現在の皇太子さまが新天皇に即位する2019年5月1日からとなります。当初は新元号の開始時期については、新学期の始まる2019年4月1日からという声もあったのですが、①4月は人事異動が多い月で、新しい生活になる人も多く、国民が忙しい、②2019年4月には統一地方選挙が行われる予定になっている等の理由で、「天皇陛下のご退位」と「皇太子さまのご即位」を国民みんなで祝える日がよいということで、2019年5月1日に決定されました。また、新元号の発表の時期については、まだ確定していませんが、政府は改元の1ヶ月前の2019年4月1日ごろを想定しています。新元号がどのように決められていくかについては、後ほど述べることにして、まず、第30号の『「元号」特集①』に示した過去の元号の一覧を見ながら、考察を加えてみましょう。

元号の使用期間に長短があるのはなぜでしょう？

江戸時代までは、在位中に天皇が元号を幾度となく変えることが度々ありました。特に、自然災害や疫病、戦争などが続くとう号を改めることが多かったようです。明治時代になると、旧皇室典範が制定され、天皇一代につき元号を一つにする「一世一元の詔」が定められ、天皇の即位と同時に元号が決定され、天皇の退位するまでその元号が用いられるようになりました。ところが、太平洋戦争後に日本国憲法が制定され、皇室典範が改正されると、元号は法的根拠を失ってしまいました。特に、戦後は「元号をやめよう」、「1945年を起点に、新たな年号をつけよう」という議論もありました。そのような中、政府が1977年に元号に関する世論調査を実施したところ、「元号はあった方がよい」と回答した人が全体の8割近くになりました。これを受けて、1979年に「元号法」が制定され、再び元号に法的根拠が与えられました。

- <何度も改元した天皇の例>
- ①後醍醐天皇（在位：1317～1340）改元：9回
「文保」(149)⇒「元応」(150)⇒「元亨」(151)⇒「正中」(152)⇒「嘉暦」(153)⇒「元徳」(154)⇒「元弘」(155)⇒「建武」(156)⇒「延元」(157)
 - ②堀川天皇（在位：1084～1108）改元：8回
「応徳」(69)⇒「寛治」(70)⇒「嘉保」(71)⇒「永長」(72)⇒「承德」(73)⇒「康和」(74)⇒「長治」(75)⇒「嘉承」(76)
- <25年以上続いた元号>
- ①「昭和」(246)：64年(1926～1989)
 - ②「明治」(244)：45年(1868～1912)
 - ③「応永」(182)：35年(1394～1428)
 - ④「平成」(247)：31年(1989～2019)
 - ⑤「延暦」(18)：25年(782～806)
- <最も短かった元号>
- ①「暦仁」(126)：2カ月14日間(1238.11.23～1239.2.7)



元号にほんどんな漢字が使われているのでしょうか？

第30号の『「元号」特集①』にも書いたように、最初の元号である「大化」から現在の元号である「平成」まで274の元号が使われました。2文字の元号が242、4文字の元号が5ありますので、使用された漢字は全部で504文字となります。この504文字を整理していくと、実際に使われたのは72文字の漢字に限られることがわかります。この72文字が使われた回数が多い順に並べると、「永」が最も多く29回、「元」と「天」が27回、「治」が21回、「応」が20回、「正」「長」「文」「和」が19回、「安」が17回、「延」と「暦」が16回、「寛」「徳」「保」が15回と続きます。逆に少ないものは、「乾」「感」「吉」「亨」「興」「景」「衡」「国」「斎」「至」「字」「朱」「授」「勝」「昌」「昭」「祥」「成」「泰」「鳥」「禎」「同」「銅」「白」「武」「福」「靈」「老」「祚」「雉」の30文字が1回、「雲」と「護」が2回、「化」「観」「喜」「神」「政」「中」「養」の7文字が3回、「寿」と「万」が4回、「龜」が5回、「大」が6回、「明」と「祿」が7回となっています。天皇の在位期間の平穩無事を祈念し、庶民に広く知らしめるために付ける元号なので、使用する漢字には「よい意味を持ち、読みやすく、書きやすい漢字」が選ばれることとなりますので、使用される漢字の数はおのずと限られてきます。

<元号に使用された漢字一覧(72文字)>

使用漢字	使用回数	使用元号例
永	29回	永延(47)永久(79)応永(182)

元天	27回	元慶(28)保元(93)元治(242)天平(10)天福(123)天文(202)
治	21回	治安(55)平治(94)明治(244)
応	20回	天応(17)応仁(193)慶応(243)
正	19回	正暦(49)正和(148)大正(245)
長		天長(21)長元(57)慶長(208)
文	17回	文治(107)文明(194)天文(202)
和		和銅(6)正和(148)昭和(246)
安	16回	天安(26)安和(40)安政(239)
延	15回	延暦(18)延宝(217)万延(240)
暦		延暦(18)暦仁(126)宝暦(228)
寛	14回	長寛(97)寛永(210)寛政(232)
徳		天徳(37)徳治(145)明徳(181)
保	13回	康保(39)保元(93)天保(236)
承		承和(22)天承(84)承久(116)
仁	12回	仁和(29)建仁(110)応仁(193)
嘉		嘉保(71)正嘉(133)嘉吉(185)
平	10回	天平(10)平治(94)平成(247)
康		康平(63)康応(180)康正(189)
宝	9回	大宝(4)延宝(217)宝暦(228)
久		永久(79)久安(90)文久(241)
慶	8回	慶雲(5)嘉慶(179)慶応(243)
建		建久(108)建長(131)建武(156)
享	7回	永享(184)享徳(188)延享(226)
弘		弘仁(20)元弘(155)弘化(237)
貞	6回	貞観(27)安貞(120)貞享(219)
明		明應(197)天明(231)明治(244)
祿	5回	天祿(41)嘉祿(119)元祿(220)
大		大化(1)大永(200)大正(245)
龜	4回	靈龜(7)宝龜(16)元龜(205)
寿		仁寿(24)万寿(56)寿永(105)
万	3回	万寿(56)永万(98)万延(240)
化		大化(1)文化(234)弘化(237)
観	2回	貞観(27)永観(45)観応(169)
喜		延喜(32)天喜(62)寛喜(121)
神	1回	神龜(9)天平神護(14)神護景雲(15)
政		寛政(232)文政(235)安政(239)
中	1回	正中(152)文中(161)元中(164)
養		養老(8)天養(89)養和(104)
雲	1回	慶雲(5)神護景雲(15)
護		天平神護(14)神護景雲(15)
乾	1回	乾元(143)
感		天平感宝(11)
吉	1回	嘉吉(185)
亨		元亨(151)
興	1回	興国(158)
景		神護景雲(15)
衡	1回	斉衡(25)
国		興国(158)
齐	1回	斉衡(25)
至		至徳(178)
字	1回	天平宝字(13)
朱		朱鳥(3)
授	1回	天授(162)
勝		天平勝宝(12)
昌	1回	昌泰(31)
昭		昭和(246)
祥	1回	嘉祥(23)
成		平成(247)
泰	1回	昌泰(31)
鳥		朱鳥(3)
禎	1回	嘉禎(125)
同		大同(19)
銅	1回	和銅(6)
白		白雉(2)
武	1回	建武(156)
福		天福(123)
靈	1回	靈龜(7)
老		養老(8)
祚	1回	永祚(48)
雉		白雉(2)

